

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第2週（令和6年1月8日～令和6年1月14日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第2週は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が5.71（前週比2.35）、感染性胃腸炎の定点当たり報告数が5.63（前週比1.42）と増えており、今後の動向に注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は子どもに多い感染症で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は主に飛まつや接触によって感染するため、手洗い、人と人との距離の確保等の感染予防策に努めましょう。
- ・感染性胃腸炎の主な症状は嘔吐と下痢で、発熱を伴うこともあります。感染予防のため、食事の前やトイレの後は必ず流水と石けんによる手洗いをしましょう。また、加熱が必要な食材は中心部まで十分に加熱して食べ、調理に使用した器具等は十分に洗浄、消毒しましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihef.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	12	78	78
腸管出血性大腸菌感染症	4	4	9	9
レジオネラ症	2	4	28	28
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	14	14
急性脳炎	1	1	3	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	6	31	31
侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	31	31
梅毒	14	19	40	40

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,616	8.16	1.10	34,035	6.96
インフルエンザ（警報レベル）	3,131	15.81	0.91	61,918	12.66
RSウイルス感染症	6	0.05	-	131	0.04
咽頭結膜熱（警報レベル）	204	1.70	0.94	4,524	1.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	685	5.71	2.35	5,377	1.73
感染性胃腸炎	675	5.63	1.42	8,766	2.82
水痘	23	0.19	0.70	452	0.15
手足口病	28	0.23	1.04	442	0.14
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	29	0.01
突発性発しん	40	0.33	1.60	357	0.12
ヘルパンギーナ	3	0.03	3.00	66	0.02
流行性耳下腺炎	4	0.03	1.00	43	0.01
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	9	0.01
流行性角結膜炎	17	0.65	1.21	493	0.72
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	24	0.05
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。